



日本女性会議

2014 札幌

平成26年10月17日(金)~19日(日)

「未来の景色は、わたしたちが変える」

日本女性会議2014 札幌 実行委員会 委員長
札幌国際大学 人文学部現代文化学科 教授 林 美枝子



札幌に集い、実る。そして未来へ

2014年、日本女性会議の開催が札幌で実現いたします。北海道では初めての開催ということで、これまで男女共同参画(ジェンダー・イクウォリティ)の推進に尽くしてこられた多くの札幌市民の方たちから、既に期待と喜びの声が届けられています。

男女共同参画に関心を寄せる、一人でも多くの皆様を札幌にお迎えしたい、という願いを込めて、実行委員会委員長として、この場をお借りしてご挨拶を述べさせていただきます。

札幌の歴史は開拓の歴史であり、その道の半分を築いてきたのは女性達です。故郷の「母村」を後にし、先祖伝来の家産やイ工意識を継承していない男女が開拓の担い手でした。そのため、性別を超えて女性の労働が正当に一個人の労働力として評価される土壌が、この地には育まれてきたのです。例えば、現在でも夫の転勤で転入してきた女性達が、市民活動の場で活躍する姿をよく見かけます。男女共同参画の活動が「萌え」易い風土が、札幌には豊かに息づいているのです。そうした成果の一端を、札幌大会の分科会ではぜひご覧に入れたいと考えております。また、各分科会での議論や提言を、参加者の皆様が共有できるようなプログラム展開も模索しています。

さて、晩婚、晩産化の著しい日本にとって、今や30年はひと世代の単位です。つまり31回目の日本女性会議となる札幌大会は、次世代へとスタートを切る日本女性会議であると言えます。実行委員会には、東日本大震災の学生ボランティア組織を立ち上げた若者がいます。また、ロゴマークは札幌市立大学のデザイン学部の学生達が競いあったものです。札幌大会では、培われてきた札幌市民の男女共同参画力だけでなく、その推進の次世代を担う若い力も披露する場にしたいと考えました。さらに、記念講演、あるいはシンポジウムに関しては、日本の男女共同参画のこれまでの歩みを総括し、さらには今後の課題を鮮明に提示することのできる演者を迎えたいと考えております。

最後に、札幌の魅力は札幌が北海道にあることに多くを負っています。ぜひ、大会参加後は、札幌だけではなく、北海道の今を味わってからお帰りください。実行委員会では単なる観光ではない、体験型、施設見学型のエクスカージョンを工夫しております。

2014年秋、多くの皆様と札幌の地でお会いできますことを、心から祈念しております。



日本女性会議 2014 札幌

平成26年10月17日(金)・18日(土)・・・開会式、全体会、分科会、交流会、閉会式
19日(日)・・・エクスカージョン

大会テーマ

「未来の景色は、わたしたちが変える」

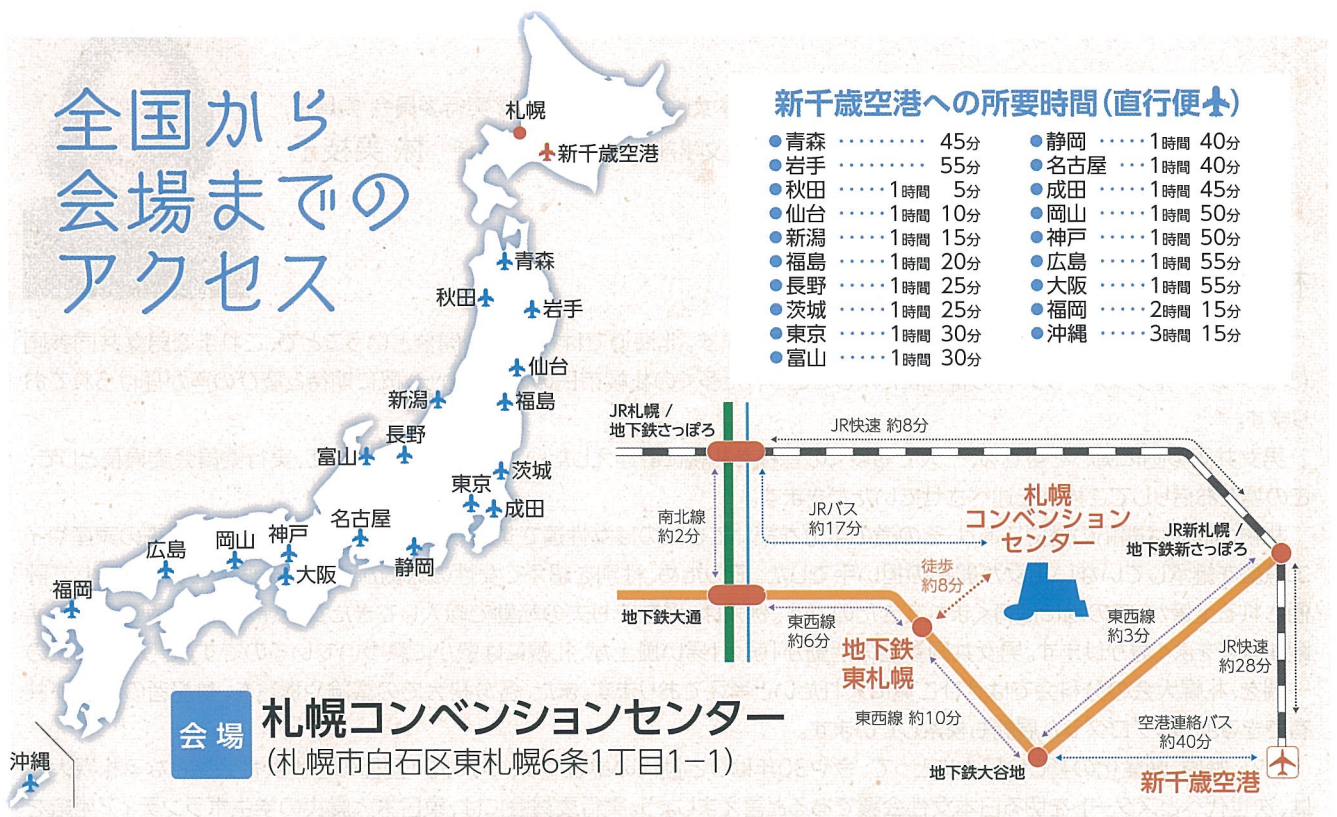
女性にとっても男性にとっても暮らしやすい社会の実現に向けて、さまざまな取り組みが行われてきました。これまで培ってきたものを糧に、わたしたちひとり一人が、新たな一歩を踏み出し、未来へつなげる男女共同参画社会を創る、強い思いを込めました。

この大会を通じて、さまざまな世代や立場の方々が集い、学び合うことで、次の世代につながる新たな価値観を創造し、札幌から全国へ発信いたします。

日本女性会議とは?

日本女性会議は、男女共同参画に関する国内最大級のイベントです。

男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図ることを目的に開催され、来年の札幌での大会で31回目を迎えます。



ロゴマーク

男女の手で札幌[sapporo]の頭文字[s]を形どり、二つの手が札幌の木「ライラック」を包んでいます。マーク全体として、女性と男性が家庭生活・職場や地域などさまざまな場面で協力し、支え合う様子を表しています。

お問合せ

日本女性会議2014札幌実行委員会 事務局

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ 札幌市男女共同参画センター内
TEL:011-728-1255 FAX:011-728-1229 E-mail:jigyuu@danjyo.sl-plaza.jp

詳しくは

日本女性会議 札幌

検索